

# おいしい 自然園

## まくらじょう 枕状溶岩のふるさと 〜丹沢山地〜

No.87

酒匂川の河原では、枕状溶岩のかげらがよく見  
つかります。枕状溶岩はどこから来たのでしよ  
うか。川の水で運ばれてきた石ですので、酒匂川を  
さかのぼって探していけば見つかるはずです。

丹沢山地では、枕状溶岩は東側の中ノ沢（相模  
原市緑区鳥屋早戸川の上流）の標高900m付近  
に産出することが以前から知られていました。私  
は野外調査の中で、8年ほど前に松田町寄地区中  
津川上流の寄沢やどりきざわの河原で枕状溶岩を多数見つけ  
ました。その後、多くの方の調査により丹沢山地  
西側にも数多く存在することがわかってきまし  
た。松田町寄地区の水棚沢みずたなざわでは海拔850m付近  
に大規模な露出があり、また、山北町玄倉地区くろくらの  
小菅沢橋の上流には数多くの転石が見られます。

約1700万年前から、丹沢山地をつくる海底  
火山の噴火が起こりました。

枕状溶岩になる粘性の低い玄  
武岩質マグマは、海底で海水  
と反応しても水蒸気爆発を起  
こさず、練りわさびのように  
海底で何本も流れ出し、重な  
り合って固まったことが写真  
からわかります。



小菅沢の枕状溶岩